

週間漁海況情報 2025年第47号

令和7年11月25日発行

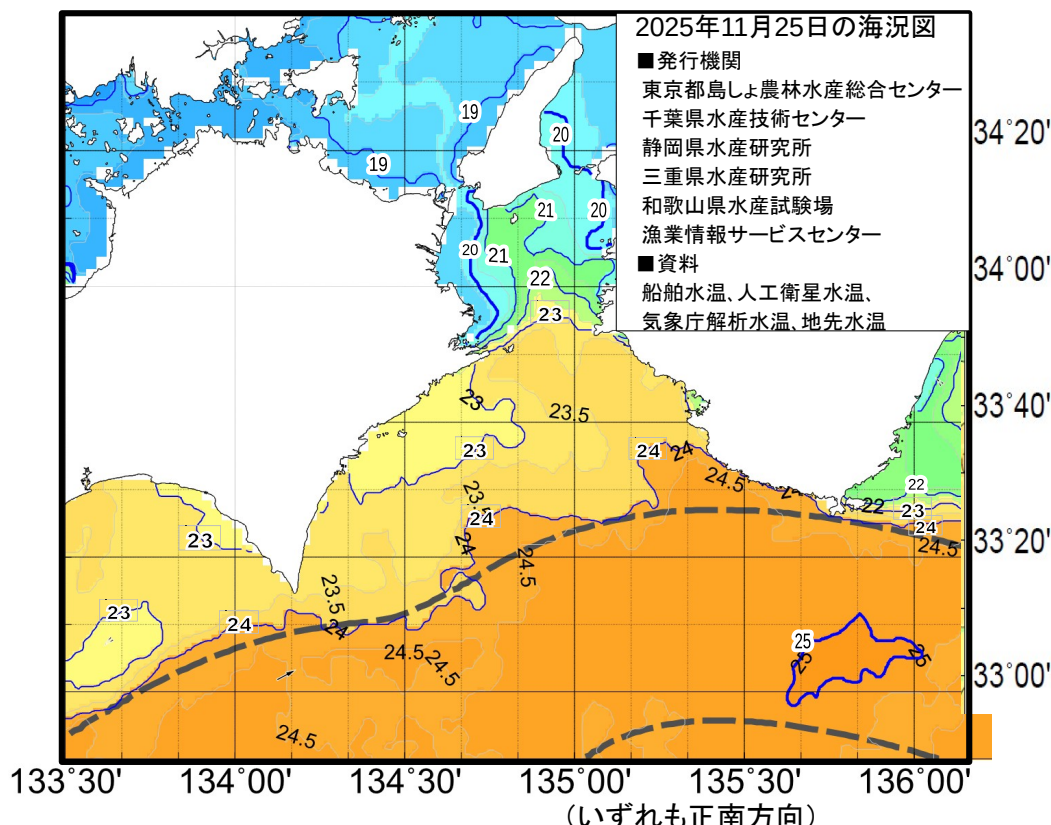
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖15マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は24～25℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で18～19、紀伊水道で19～22、海部沿岸で22～23℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

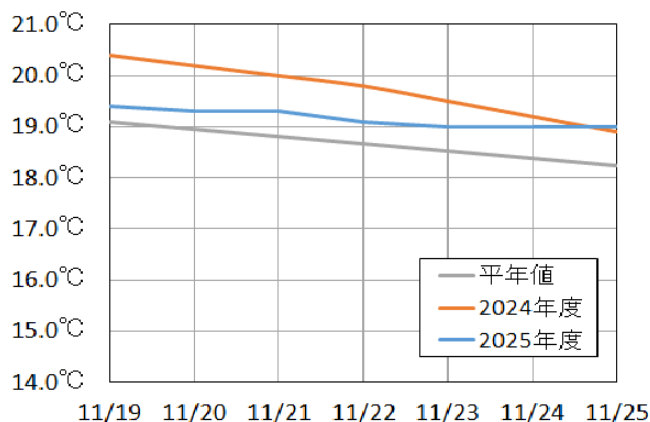
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温（11月19日～11月25日 浅川地区は水温計故障のため那佐地区の水温を用いた。）

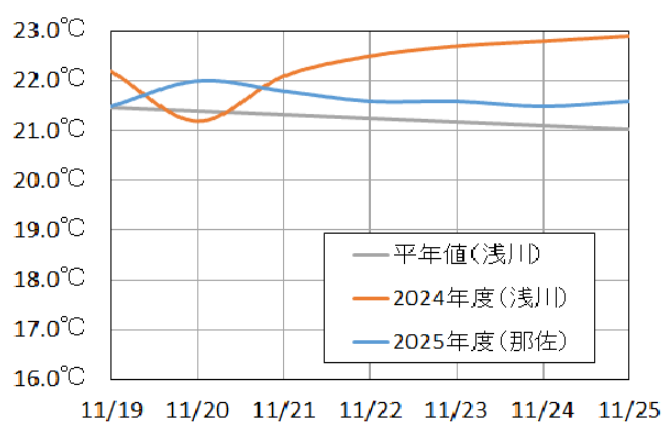
鳴門地区の水温は、19.4～19.0℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。那佐地区は、22.0～21.5℃。

鳴門と那佐地区の水温差は、2.1～2.7℃だった。

鳴門地区



那佐地区（昨年度と平年値は浅川地区）



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報（11月26日～12月2日）

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況（11月17日～11月23日）

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが減って24.8ト水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて3.7ト、あまだい類が増えて1.9ト水揚げされた。

底びき網では、えそ類が2.6ト、ハモが減って中主体に0.7ト、クマエビが減って0.6ト、かます類が減って0.6ト、モンゴウイカが増えて0.3ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.8ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆あじ級主体に1.8ト、アイゴが大きく減って0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：3）

大型定置網では、マルソウダが0.7ト、メアジが減って0.7ト、

ヒラソウダが大きく増えて0.6ト、マルアジが大きく増えて小小主体に0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	46	シラス	24,840	540		↘
	延縄	65	サワラ	3,730	57		↗
		82	あまだい類	1,882	23		↗
	底びき網	22	えそ類	2,630	120		→
		19	ハモ	737	39	中主体	↘
		22	クマエビ	586	27		↘
		20	かます類	568	28		↘
		21	モンゴウイカ	338	16		↗
	建網	104	カワハギ	794	8	大主体	→
	小型定置網	17	マアジ	1,829	108	豆あじ級主体	↗
		14	アイゴ	313	22		↘↘
海部沿岸	大型定置網	6	マルソウダ	730	122		→
		6	メアジ	706	118		↘
		6	ヒラソウダ	638	106		↗↗
		6	マルアジ	357	59	小小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘